

科目名	人体構造機能学実習	担当教員	伊藤 俊輔※ 佐藤 公博※ 久保田 健太※ 小川 峻一※ 世古 俊明※ 鈴木 大輔※ 信太 雅洋※ 久保 勝幸※ 曾我部いづみ※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------	------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	2年次	後期	3単位	実習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR23C	①、②					

科目概要	人体構造機能学ⅠやⅡで学習した骨・関節・筋系や神経系や内臓脈管系に関する解剖や機能を中心とした知識をもとに、人体に直接手を触れ、観察することで、その構造を三次元的にイメージし、基礎的な知識をより確実に習得し、更に科学的な基礎能力を身につけることを学習目標とする。特別な機会である本実習を通じて、生命の尊厳および医療専門職としての使命を自覚し、真摯な姿勢で学ぶことが重要である。
学習目標	① 人体標本の局所の構造を直接的解剖見学により理解を深める。 ② 直接的解剖見学から、主に骨および筋に関する体表解剖について理解を深める。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	序論 筋骨格系1	・オリエンテーション ・筋骨格系：上肢	・人体構造機能学実習の流れ、解剖学実習に向けての心構えや実習概要を理解する。 ・模型標本を利用した実習により上肢の筋骨格系における各部位の名称・構造を理解する。	鈴木
2	筋骨格系2	筋骨格系：下肢	模型標本を利用した実習により下肢の筋骨格系における各部位の名称・構造を理解する。	鈴木
3	筋骨格系3	筋骨格系：体幹	模型標本を利用した実習により体幹の筋骨格系における各部位の名称・構造を理解する。	鈴木
4	神経系1	末梢神経系：上肢	上肢の末梢神経系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
5	神経系2	末梢神経系：下肢	下肢の末梢神経系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
6	神経系3	末梢神経系：体幹	体幹の末梢神経系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
7	神経系4	中枢神経系	中枢神経系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
8	脈管系1	脈管系：上肢	上肢の脈管系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
9	脈管系2	脈管系：下肢・体幹	下肢・体幹の脈管系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
10	内臓器1	心臓	心臓の各部位の名称・構造を復習する。	鈴木

11	内臓器 2	腹部内臓系	腹部内臓系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
12	内臓器 3	呼吸器系	呼吸器系における各部位の名称・構造を復習する。	鈴木
13	解剖見学実習 1	解剖実習 1-1 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
14	解剖見学実習 2	解剖実習 1-2 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
15	解剖見学実習 3	解剖実習 1-3 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
16	解剖見学実習 4	解剖実習 1-4 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
17	解剖見学実習 5	解剖実習 1-5 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
18	解剖見学実習 6	解剖実習 1-6 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
19	解剖見学実習 7	解剖実習 2-1 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
20	解剖見学実習 8	解剖実習 2-2 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
21	解剖見学実習 9	解剖実習 2-3 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田

				曾我部 佐藤 伊藤
22	解剖見学実習 10	解剖実習 2-4 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
23	解剖見学実習 11	解剖実習 2-5 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
24	解剖見学実習 12	解剖実習 2-6 (札幌医科大学)	ご遺体を実際に手に取り各部を観察実習する。	鈴木 信太 久保 久保田 曾我部 佐藤 伊藤
25	筋骨格系 4	解剖事後実習 (骨学)	解剖実習では観察しにくい骨の構造を、骨模型のスケッチなどを通し、立体的に理解する。	鈴木
26	筋骨格系 5	解剖事後実習 (筋系)	解剖実習で見学実習した筋系に関する知見を深める。	鈴木
27	神経系 5	解剖事後実習 (末梢神経系、中枢神経系)	解剖実習で見学実習した末梢神経系、中枢神経系に関する知見を深める。	鈴木
28	脈管系 3	解剖事後実習 (脈管系)	解剖実習で見学実習した上下肢、体幹の脈管系に関する知見を深める。	鈴木
29	内臓器 4	解剖事後実習 (腹部内臓系)	解剖実習で見学実習した腹部内臓系に関する知見を深める。	鈴木
30	内臓器 5	解剖事後実習 (心臓、呼吸器系)	解剖実習で見学実習した心臓、呼吸器系に関する知見を深める。	鈴木
31	体表解剖 1	体表解剖 (上肢・上肢帯：骨・筋)	上肢・上肢帯の骨や靭帯、筋などを触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
32	体表解剖 2	体表解剖 (体幹：骨・筋)	体幹の骨や靭帯、筋などを触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
33	体表解剖 3	体表解剖 (下肢・上肢帯：骨・筋)	下肢の骨や靭帯、筋などを触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
34	体表解剖 4	体表解剖 (上肢・上肢帯：筋)	上肢・上肢帯の骨や筋、関節運動を筋力検査などの実技を用いた触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
35	体表解剖 5	体表解剖 (上肢・上肢帯：筋)	上肢・上肢帯の骨や筋、関節運動を筋力検査などの実技を用いた触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
36	体表解剖 6	体表解剖 (上肢・上肢帯：筋)	上肢・上肢帯の骨や筋、関節運動を筋力検査などの実技を用いた触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤

37	体表解剖 7	体表解剖 (下肢・体幹：骨)	下肢・体幹の骨や筋、関節運動を可動域検査などの実技を用いた触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
38	体表解剖 8	体表解剖 (下肢・体幹：骨)	下肢・体幹の骨や筋、関節運動を可動域検査などの実技を用いた触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
39	体表解剖 9	体表解剖 (下肢・体幹：骨)	下肢・体幹の骨や筋、関節運動を可動域検査などの実技を用いた触診を通して理解する。	久保田 世古 小川 伊藤
40	筋骨格系 6	総復習 (骨格系)	解剖実習、体表解剖で学習した骨格系に関する知見を理解しているか確認する。	佐藤
41	筋骨格系 7	総復習 (筋系)	解剖実習、体表解剖で学習した筋系に関する知見を理解しているか確認する。	佐藤
42	神経系 6	総復習 (末梢神経系)	解剖実習、体表解剖で学習した末梢神経系に関する知見を理解しているか確認する。	佐藤
43	神経系 7	総復習 (中枢神経系)	解剖実習、体表解剖で学習した中枢神経系に関する知見を理解しているか確認する。	佐藤
44	脈管系 4	総復習 (脈管系)	解剖実習、体表解剖で学習した脈管系に関する知見を理解しているか確認する。	佐藤
45	内臓器 4	総復習 (腹部内臓系、心臓、呼吸器系)	解剖実習、体表解剖で学習した心臓、呼吸器系、腹部内臓系に関する知見を理解しているか確認する。	佐藤
評価方法		筆記試験 (70%)、 レポートならびに実習への取組状況 (30%)		
課題に対するフィードバック		<p>ここでの課題は、「授業内容の理解」とします。 それに対して①-⑤のフィードバックを行います</p> <p>① 授業後の確認テスト ② 次の授業前の簡単な解説 (出来が悪い確認テストの問題に対して) ③ 個人的な対応 (質問に対する回答や解説など) ④ 解剖実習に対するレポート (採点して返却します) ⑤ 期末テスト</p>		
教科図書		F.H.マティーニ、他・著『カラー人体解剖学・構造と機能；マイクロからマクロまで』西村書店、2003年 配布課題資料		
参考図書		高邑富久子、他・著『シンプル生理学 改訂第7版』南江堂、2016年 Helen J.Hislop, et al. 著『新・徒手筋力検査法 原著第10版』協同医書出版、2020年 伊藤俊一、他・著『PT・OTのための測定評価1 ROM測定 第2版』三輪書店、2010年 伊藤俊一、他・著『PT・OTのための測定評価2 形態測定・感覚検査・反射検査 第2版』三輪書店、2014年 隈元庸夫、他・著『PT・OTのための測定評価3 MMT 頭部・頸部・上肢 第2版』三輪書店、2016年 隈元庸夫、他・著『PT・OTのための測定評価4 MMT 下肢・体幹 第2版』三輪書店、2016年 林典夫・著『運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版』メジカルビュー、2011年 林典夫・著『運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版』メジカルビュー、2012年		
学習の準備		1. (予習) 可能であれば事前に教科書の該当箇所を通読しておくこと (30分)。 2. (復習) 授業中に配布した資料を見直し、専門用語の意味等を理解しておくこと (30分)。		
オフィスアワー		月曜日と水曜日の10時～16時、その他在室時はいつでも可		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験		鈴木大輔、信太雅洋、久保勝幸、久保田健太、曾我部いづみ、佐藤公博、伊藤俊輔は、これまで献体における剖出作業および人体解剖実習指導の実務経験を有しており、本講義の解剖実習において、その経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。 また、久保田健太、世古俊明、佐藤公博、小川峻一、伊藤俊輔は、民間病院で筋・骨関節領域における理学療法の実務経験を有しており、本講義において、その経験を活かしてより実践的な指導をすることができる。		